

サステナビリティ教育研究センター 活動報告

1. タイトル

2022 年度 けやき循環プロジェクト 小学校焼き芋大会

2. 活動日時・参加人数

3. 場所

日 付	参加者	場 所
2022 年 12 月 5 日 (月)	5 年生・教職員	松林
2022 年 12 月 6 日 (火)	4 年生・教職員	
2022 年 12 月 7 日 (水)	2 年生・教職員・保護者 (複数名)	
2022 年 12 月 12 日 (月)	3 年生・教職員	
2022 年 12 月 14 日 (水)	1 年生・教職員・保護者 (複数名)	
2022 年 12 月 19 日 (月)	6 年生・教職員・保護者 (複数名) ・ 成蹊高校生 (小中高一貫教育連携企画)	

4. 活動内容

けやき循環プロジェクトの活動の一つである落ち葉集めで、教職員と一緒に集めた落ち葉や、各学級で集めた落ち葉、学園職員が業務の中で集めた落ち葉を活用し、芋を焼く。芋を焼く際には、まず、学級ごとに落ち葉を燃やして灰にした「焼き床」を作る作業を行う。焼き床は担当するメンバーによって形が異なり、馬蹄形・円・一直線とメンバーの長年の経験や知恵をもとに作られる。それぞれの焼き床に児童が芋を投入し、再度落ち葉を積み上げて燃やしていく。芋を投入してから約 2 時間後、焼き芋が完成する。出来上がってすぐのホクホクの焼き芋を食べているときの子どもたちの表情はとても微笑ましい。

5. 成果と課題

焼き芋大会の魅力は、児童、学生、教職員が交流しながら集めたケヤキの落ち葉を燃やして芋を焼いている点、芋を焼き終わった後に残った灰を肥料として畑に撒いている点、日常生活の中で火に触れる機会が乏しい児童が、焼き芋大会を通じて火の扱いなどを学べる点である。

昨年度から新型コロナウイルス対策を徹底し、学生と教職員とが協力して落ち葉集めを行う体制に戻ることができ、児童にとっては様々な世代と関わりを持つ大変貴重な機会となった。

しかし、今年度も新型コロナウイルス対策として、一緒に焼き芋を食べることができず、焼き床についても有志の教職員と児童とが、別の焼き床を作らざるを得ない等、協同での活動という点では満足のものではなかった。

なお、昨年までの近隣住民の方からの苦情を踏まえて、周知方法の改善（近隣住民への周知文の投函・ホームページでの周知）および武蔵野市への事前説明を行った。煙の性質上、周知文を投函した近隣住民以外からの苦情があったことから、実施方法や学外周知方法について、次年度に向けて改善する必要がある。

